

な～に谷っ戸ん田 4年目の32回目 - 赤米の籾擦り -

とき 平成22年11月20日(土) 9:30 - 16:30

ところ 谷っ戸ん田のたんぼ

天気 晴れ

参加者 吉田、佐々木(妻・優聖)、高田(妻)、久保、磯、福井[午前]、霧生[午前] 計8名(子供1名含む)

午前

谷っ戸ん田たんぼとなりの作業場で赤米の籾擦りを行うため、籾擦り機、発電機、脱穀した赤米、作業用具(箕、フネ、米袋など)を作業場に持ち込む。

籾擦り機は直売所裏のハウスから、発電機は納屋から、赤米は小屋下のハウスから移動。移動には園主の軽トラを借用いたしました。ドライバーは吉田さん。

準備作業でミスを連発いたしました。

- 移動した赤米が間違っていました。(籾擦り済の袋を持って来てしまうミス。15分のロス)
- 籾擦り機の組み立て方(3枚あるネットの組込み方)がわかりませんでした。
- 発電機につないでも籾擦り機が起動しませんでした。

自力解決できず、園主にヘルプ。

- ネットの組込み方法をご指導いただきました。(次回のために久保さんが写真に納めています)
- 発電機は出力不足でした。黄色い小型の方は出力が不足、籾擦りには使えません。赤い中型の機械でないといけないようです。

そんなこんなで、午前中は籾擦り準備だけで終了。

お昼

霧生さん、福井さんが離脱。松尾さんから午後NG連絡。人がいないです....

各自、テキトーに昼食。高田さんから、フランスみやげのチョコレートの差し入れ。ご馳走さまでした。小屋横の柿がおいしそうだったので、勝手にご馳走になりました。おいしかったです。

午後

気をとりなおして、籾擦り作業開始。

- 籾擦り機は、水平に置かないとダメです。ネットに米が均一に落ちないとうまく選り分けできません。
- 赤米はヒゲが長いので、普通の米に比べ詰まり易いようです。とはいえ、投入口を広げると擦れ不良が発生します。籾投入の制御が難しい。今回は少量だったこともあり手を使ってだましだましやりました。

籾擦り前の赤米は、カンニホが軽め2袋、ベニロマンが軽め6袋(?)。籾擦り後は、カンニホ1袋、ベニロマン軽め4袋になりました。この量を脱穀するのに要した時間は実質2時間程度でした。

使用した機器、用具、脱穀後の赤米の入った袋を片付けて本日の作業を終了しました。赤米は、小屋下のハウス(育苗ハウス)に片付けました。カンニホは「コンバインハーベスタ」の袋、ベニロマンは「ヤンマー」の袋です。

故障原因となることを懸念し、籾擦り機は洗浄せずに元の場所に返却しました。

作業終了を園主に報告し、16:30頃解散しました。しかし、ここで大問題発生です。

園主から「種籾は取っておいたんだよね?」と切り出され、報告者(吉田さん、磯)は絶句。

赤米の種籾まで擦ってしまいました！

園主からは、しょうがない来年は赤米できないね、と悲しいことを言われ、アテもないのに種籾なんとかしますとかほざいてしまったわけですが、どうするか次回相談です....

PS. 吉田さんとロープワークの勉強をすることにしました。

記録：磯